

## 7月の天候

2020年（令和2年）7月の日本の天候は、「令和2年7月豪雨」が発生し、降水量は東・西日本でかなり多くなりました。日照時間は、北日本太平洋側と東・西日本でかなり少なくなりました。気温は、西日本でかなり低く、東日本で低くなりました。

2020年（令和2年）7月の天候の特徴は以下のとおりです。

### ○「令和2年7月豪雨」が発生

活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となりました（「令和2年7月豪雨」）。東・西日本の月降水量はかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側では、それぞれ7月として1946年の統計開始以来第1位の多雨となりました。

### ○北日本太平洋側と東・西日本で日照時間はかなり少なくなりました

梅雨前線や東からの湿った気流の影響を受けやすかったため、月間日照時間は北日本太平洋側と東・西日本でかなり少なくなりました。東日本日本海側、東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側では、それぞれ7月として1946年の統計開始以来第1位の寡照となりました。

### ○気温は、西日本でかなり低く、東日本で低くなりました

曇りや雨の日が多く、北からの冷たい空気の影響を受ける時期もあったため、月平均気温は西日本でかなり低く、東日本で低くなりました。一方、太平洋高気圧に覆われて晴れた時期があった沖縄・奄美では高くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:541KB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202007\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202007_besshi.pdf)

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 村井(観測値や記録について)  
電話 03-3212-8341 (内線 4156) FAX 03-3217-3615  
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 中三川(天候の解説について)  
電話 03-3212-8341 (内線 3166) FAX 03-3211-8406